

1. 基本的な事項

○空港の特徴

- ・のと里山空港は、石川県輪島市・穴水町・能登町の1市2町にまたがって立地する、2003年開港の地方管理空港である。
- ・2019年度の乗降客数は約17万人、離着陸回数は1,558回となっている。

○空港脱炭素化に向けた方針

- ・空港関係事業者が一体となって、照明や航空灯火のLED化、車両のEV化等の省エネのほか、再生可能エネルギー等の導入などに取り組む。

2. 温室効果ガスの排出量

区分		温室効果ガス排出量[t/年]	
		2013年	現状(2019年)
空港施設		1021.3	935.5
空港車両		118.1	74.5
空港施設・車両 計		1139.4	1,010.0
(参考)	航空機（地上走行中）	112.0	113.1
	航空機（駐機中）	73.7	73.2
	空港アクセス	—	197.9

3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比 76.0%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

4. 主な取組

- 2030年度：空港施設の照明LED化、太陽光発電設備や蓄電池の導入に取り組む。
- 2050年度：空港車両のEV化、太陽光発電設備や蓄電池の更なる拡充を検討する。



取組の内容及び実施可能性のある場所

その他の取組

- 地域連携・レジリエンス：災害時における蓄電池等の活用の検討
- 意識醸成・啓発活動：空港関係者と連携した環境活動の継続、推進